

2023年度学校評価

1. よく当てはまる 2. だいたい当てはまる 3. あまり当てはまらない 4. 当てはまらない

1. 学ぶ意欲を引き出し、学力を生徒に身につけるような授業が行われている(教務)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	25%	17%	55%	66%	15%	15%	5%	3%
保護者	12%	12%	67%	71%	19%	15%	3%	2%
職員	6%	9%	72%	82%	22%	9%	0%	0%

1.1. 校舎やグラウンド等の施設設備は整えられている(事務)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	31%	26%	45%	47%	15%	16%	9%	11%
保護者	19%	18%	59%	63%	18%	15%	5%	4%
職員	8%	6%	58%	53%	19%	38%	14%	3%

2. 挨拶やマナー等の基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている(生徒)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	35%	29%	40%	56%	19%	13%	6%	2%
保護者	18%	16%	71%	69%	8%	13%	2%	2%
職員	17%	15%	58%	71%	22%	15%	3%	0%

1.2. 学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる(生徒)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	28%	26%	47%	51%	16%	17%	9%	6%
保護者	9%	7%	59%	58%	27%	29%	6%	6%
職員	8%	15%	75%	76%	17%	9%	0%	0%

3. 進路目標の明確化及び実現に向けた適切な指導が行われている(進路・コース)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	40%	29%	42%	60%	13%	8%	6%	3%
保護者	25%	25%	60%	61%	12%	11%	3%	2%
職員	14%	18%	69%	74%	17%	9%	0%	0%

1.3. 学校生活は充実している(全体)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	36%	27%	47%	54%	8%	12%	8%	7%
保護者	29%	31%	61%	55%	9%	10%	2%	3%
職員	8%	9%	78%	79%	14%	12%	0%	0%

4. 教員やカウンセラーが必要な時に相談にのってくれる体制が整っている(宗教)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	36%	28%	52%	57%	7%	12%	4%	3%
保護者	19%	17%	64%	69%	15%	12%	2%	2%
職員	28%	26%	64%	65%	8%	9%	0%	0%

1.4. 図書、ICT機器、視聴覚などの有効な活用がはかられている(図書情報)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	30%	25%	43%	45%	16%	20%	11%	10%
保護者	16%	17%	68%	66%	14%	14%	2%	3%
職員	19%	12%	67%	68%	11%	18%	3%	3%

5. 部活動が活発に行われている(生徒)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	49%	38%	40%	49%	6%	8%	5%	5%
保護者	26%	30%	59%	58%	10%	9%	5%	3%
職員	17%	24%	58%	62%	25%	15%	0%	0%

1.5. 健康管理及び安全衛生の指導がしっかりしている(保健厚生)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	41%	35%	47%	53%	8%	10%	4%	3%
保護者	22%	19%	68%	70%	9%	9%	1%	1%
職員	25%	12%	61%	71%	14%	15%	0%	3%

6. 生徒会活動が活発に行われている(生徒)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	38%	33%	42%	49%	13%	11%	7%	8%
保護者	13%	9%	70%	71%	16%	17%	2%	2%
職員	33%	29%	50%	68%	17%	3%	0%	0%

1.6. 建学の精神、教育目標を理解している(全体)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	49%	38%	41%	51%	7%	7%	3%	4%
保護者	24%	19%	61%	65%	13%	14%	1%	2%
職員	14%	18%	64%	65%	19%	15%	3%	3%

7. 有意義な学校行事がある(生徒)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	35%	24%	43%	47%	14%	19%	8%	9%
保護者	19%	16%	63%	56%	14%	24%	4%	4%
職員	14%	6%	75%	76%	11%	18%	0%	0%

1.7. 学習方法や学習計画、評価方法について指導している(教務)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	40%	31%	47%	57%	9%	9%	4%	2%
保護者	20%	17%	57%	58%	19%	21%	3%	4%
職員	17%	6%	64%	74%	19%	15%	0%	6%

8. キリスト教主義に基づく特色ある学校づくりに取り組んでいる(宗教)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	57%	47%	38%	49%	4%	2%	1%	2%
保護者	43%	40%	54%	57%	2%	2%	1%	0%
職員	31%	32%	58%	56%	8%	9%	3%	3%

1.8. 適切な量の家庭学習教材が与えられている(教務)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	38%	30%	48%	53%	10%	12%	4%	5%
保護者	15%	14%	66%	68%	16%	15%	2%	3%
職員	17%	9%	60%	71%	20%	18%	3%	3%

9. 災害、非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている(生徒)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	41%	30%	47%	52%	8%	14%	4%	4%
保護者	20%	16%	70%	71%	10%	11%	1%	1%
職員	14%	9%	61%	47%	22%	44%	3%	0%

1.9. 携帯電話、スマートフォンの指導がしっかりされている(生徒)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	37%	35%	45%	53%	9%	9%	8%	3%
保護者	28%	25%	58%	63%	11%	10%	2%	3%
職員	19%	15%	47%	65%	31%	18%	3%	3%

1.0. HPや学校便りなどによって学校の情報は適切に伝えられている(総務)

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
生徒	50%	40%	35%	52%	8%	7%	6%	1%
保護者	38%	37%	52%	52%	8%	9%	2%	2%
職員	19%	15%	75%	71%	3%	9%	3%	6%

学校評価について

1. 全般的なこと

(ア) 1と2を合わせて90%を上回る項目(高評価)

(※太字は昨年度も90%以上の評価)

<生徒> (昨年度2項目⇒今年度2項目)

8. **キリスト教主義に基づく特色ある学校づくりに取り組んでいる。**(宗教部)

16. 建学の精神、教育目標を理解している。(全体)

<保護者> (昨年度1項目⇒今年度5項目)

8. **キリスト教主義に基づく特色ある学校づくりに取り組んでいる。**(宗教部)

9. 災害、非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。(生徒部)

10. HPや学校便りなどによって学校の情報は適切に伝えられている。(総務部)

13. 学校生活は充実している。(全体)

15. 健康管理及び安全衛生の指導がしっかりしている。(保健厚生部)

<職員> (昨年度5項目⇒今年度2項目)

4. **教員やCSが必要な時に相談にのってくれる体制が整っている。**(宗教部)

10. HPや学校便りなどによって学校の情報は適切に伝えられている。(総務部)

(イ) 1と2をあわせて80%を下回る項目(努力改善項目)

(※太字は昨年度も80%未満の評価)

<生徒> (昨年度4項目⇒今年度5項目)

2. 挨拶やマナー等基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。(生徒部)

7. **有意義な学校行事がある。**(生徒部)

11. 校舎やグラウンド等の施設設備は整えられている。(管理職・事務部)

12. 学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。(生徒部)

14. 図書、ICT機器、視聴覚等の有効な活用がはかられている。(図書情報部)

<保護者> (昨年度3項目⇒今年度4項目)

1. 学ぶ意欲を引き出し、学力を生徒に身につけるような授業が行われている。(教務部・教科)

11. 校舎やグラウンド等の施設設備は整えられている。(管理職・事務部)

12. 学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。(生徒部)

17. **学習方法や学習計画、評価方法について指導している。**(教務部)

<職員> (昨年度2項目⇒今年度7項目)

1. 学ぶ意欲を引き出し、学力を生徒に身につけるような授業が行われている。(教務部・教科)

2. 挨拶やマナー等基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。(生徒部)

5. 部活動が活発に行われている。(生徒部)

9. 災害、非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。(生徒部)

1 1. 校舎やグラウンド等の施設設備は整えられている。 (管理職・事務部)

1 6. 建学の精神、教育目標を理解している。 (全体)

1 9. 携帯電話、スマートフォンの指導がしっかりされている。 (生徒部)

※下線項目は調査対象で (ア) と (イ) の結果乖離があった項目。

2. 各部署より

(全体)

1 3. 「学校生活は充実している」

⇒1と2をあわせての経年比較は、生徒(昨年度 81%⇒今年度 83%)、保護者(昨年度 86%⇒今年度 90%)、職員(昨年度 88%⇒今年度 86%)といずれも 80%をこえた評価となりました。今後は学校充実度が 100%に近づくよう、授業や生徒指導、進路指導等の学校評価を精査して、更なる改善につながるよう努めていきたいと考えております。

1 6. 「建学の精神、教育目標を理解している」

⇒1と2をあわせての経年比較は、生徒(昨年度 89%⇒今年度 90%)、保護者(昨年度 84%⇒今年度 85%)、職員(昨年度 83%⇒今年度 78%)という評価となりました。生徒、保護者の評価は昨年度同様高い評価をいただきましたが、職員の評価が昨年度を下回る数値となりました。今後は職員会議をはじめ多くの場面で機会をとらえて職員に対して周知徹底していききたいと考えております。また生徒、保護者の皆様に対しても引き続き様々な場面で建学の精神、教育目標の理解を深めるような取組を続けていききたいと考えております。

「自由記述」

本校の教育活動に対して評価していただくあたたかいコメントもいただきましたが、一方では多くのご指摘、ご要望をいただきました。ありがとうございます。解決に向けて、予算的なこと、外部との連携が必要なこと、等々ありますが、学校全体で取り組むべきこと、各部署、各教科、各学年で取り組むべきことを明確にし、優先順位を決めて今後の学校改革にいかしていきたいと考えております。

⇒**評価について不透明である**というご指摘がありました。学校として該当教科、担当教員との面談などを通して早急に改善していきたいと考えております。

⇒**学校評価項目に「わからない」という項目**を入れてほしいという要望もいただきました。学校評価については宮城県の教育委員会が示した学校評価実施方法に準拠して行っており、その中に「わからない」という項目は設定されておりません。県からあらたな方針が示されるまではこの様式となりますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

⇒**授業内容**についても多くのご指摘をいただきました。現在も各種の研修会、理事による授業参観などを実施して教員の授業力向上に努めておりますが、今後とも各部署、教科と連携をとりながら授業改善に努めていきたいと思っております。

⇒学校の様子がよくわからないとのご指摘もいただきました。今後もクラッシー配信、HP等、様々な媒体を利用してご家庭との連絡を密にしていきたいと考えております。

⇒特別進学コースの徴収金についてもご指摘がありました。今後、法人とも相談しながら早急に対応していきたいと考えております。

⇒いじめの対応についてもご質問がありました。いじめのアンケートを実施し、対応が必要な場合はいじめ対策予防委員会を開き、法律に則り、適切に対応しております。

(宗教部)

4. 「教員やカウンセラーが必要な時に相談ののってくれる体制が整っている」

⇒スクールカウンセラーは週4回勤務しており、生徒、保護者の相談を受けています。

今後とも、生徒には、困りごとがある場合には一人で抱え込まず相談するように促してまいります。保護者にも必要に応じて勧めてまいります。何か困りごとがございましたらご遠慮なくご利用ください。

8. 「キリスト教主義に基づく特色ある学校づくりに取り組んでいる」

⇒本校の教育は礼拝を中心としています。全生徒が同じ時、同じ場所で、心を一つにして礼拝を捧げています。生徒は礼拝の中で心を落ち着かせ、自分の心と対話するように促しています。またクリスマス時期には全生徒にクリスマスカードを制作してもらい、高齢者や福祉施設等に送りました。また2年生各クラスが聖画を制作し、クリスマスに向けて心の準備をしております。特別礼拝は宗教委員が司会、聖書朗読を担当し捧げています。

建学精神で謳っております「イエス・キリストに倣う隣人への愛の精神を培い」を実践するために、エコキャップ回収、ありのまま舎のボランティア等を行っております。

(総務部)

10. 「HPや学校便りなどによって学校の情報は適切に伝えられている」

⇒1と2を合わせて、保護者は90%をこえました。生徒は90%に届きませんでした。次年度は100%に近づくよう、HPや学校便りを利用して情報発信に努めてまいります。また、奨学会の活動を通しましても学校の情報を伝えられるよう考えていきたいと思っております。

(教務部)

1. 「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけるような授業が行われている」

⇒評価1「よく当てはまる」の経年比較は、生徒（昨年度17%⇒今年度25%）となり、先生方の日頃の授業の創意工夫が少しずつ成果として表れ、生徒の高評価に繋がってきたことは大きな前進である。一方で、1と2をあわせた経年比較となると、生徒（昨年度83%⇒今年度80%）、保護者（昨年度83%⇒今年度79%）と微減の評価に対して、職員（昨年度91%⇒今年度78%）の大きな減少評価となった部分では、先生方の取り組みにおけるPDCAサイクルのDoとCheckの過程において、新しいチャレンジに対する失敗経験

や試行錯誤の途上段階で、それに伴う自己評価が低下したことが原因かもしれない。引き続き、全体の押上げにはまだ至っていないので、継続した取り組みが必要である。

17. 「学習方法や学習計画、評価方法について指導している」

⇒1と2をあわせた経年比較は、生徒（昨年度 88%⇒今年度 87%）、保護者（昨年度 75%⇒今年度 77%）、職員（昨年度 80%⇒今年度 81%）といずれも大きな変化はなく昨年度維持の結果となった。一方で、保護者の評価のみが未だ 80%を下回っている現状について、教務部としては年度当初に Classi にて生徒のみならず保護者向けにも「評価方法と平常点の一覧」を一齐送信で配布することで「評価方法」の観点については十分であると考えており、年度途中で評価方法を再提示する必要はないと考えている。今後、保護者評価を 80%以上に推移させる方策としては、「学習方法や学習計画」の観点に対して教務部としてどう関わられるかを考える必要がある。具体的には、各学年・年次やクラス担任、各教科や進路部などで行われている「学習方法や学習計画」に向けた日頃の指導のほかに、教務部としてどう連携したり発信していけるかを模索する必要がある。

18. 「適切な量の家庭学習教材が与えられている」

⇒評価 1「よく当てはまる」の経年比較は、生徒（昨年度 30%⇒今年度 38%）、職員（昨年度 9%⇒今年度 17%）といずれも増加に転じており、生徒・教員共に適切な量や内容の家庭学習教材が与えられていると感じているようである。この結果は、1と2をあわせた経年比較でも、生徒（昨年度 83%⇒今年度 86%）、保護者（昨年度 82%⇒今年度 81%）、職員（昨年度 80%⇒今年度 77%）でも同様である。この設問自体は各学年・年次や教科に付託されている部分が多いので、教務部として取り組めることに限界はあるが、今後も 100%に近づくよう努めていきたいと考えている。

「自由記述」

① 考査の教科の予定、何日目に何の教科が設定されているのかが、2週間位前にはわかると助かります。学内放課後学習に通っておりますが、早めにわかるとそれに合わせて個別対策の予定を立てられます。

⇒現状では、考査1週間前に考査時間割を発表するのが適切だと受け止めています。学校運営上、年間の考査予定表を立案はしているものの、現実的には先生方の直近の予定から考査の度に日程変更を加えていることを鑑みると、現状での実現は大変厳しい状況ですので、ご了承ください。

② 成績表について、子供への手渡しではなく親が確実に確認できる方法、郵送、もしくはWEBなど、ご検討いただけますと幸いです。

⇒現状では、定期考査Ⅰの結果は面談週間の中で保護者に直接手渡し、定期考査ⅡとⅢは生徒に手渡し配付した上でその旨を保護者に Classi 配信でお知らせ、定期考査Ⅳおよび学

年末は郵送で行っております。手渡しおよび郵送共に、必要な資料や情報を適切に提供しておりますので、どうぞご理解ください。生徒への手渡しとなる定期考査ⅡとⅢについては、ご子女とコミュニケーションを取る絶好の機会として受け止めていただけると幸いです。

③ 定期テストを週末はさんでの日程にできないでしょうか。4日連続だと、子供が睡眠時間を削って無理して勉強するので、通学中事故を起こさないか心配です。

⇒定期考査の日程は、年間の総授業時数を担保する観点で極力バランスを取りながら組んでおります。加えて、学校行事等の兼ね合いや、部活動の外部大会などと重なって生徒に弊害が出ないように、また年間の暦を見ながらできる限り全体を調整して組んでいる現状です。また、考査直前1週間は学習だけに集中できるよう部活動が停止された上で考査日程を組んでおります。今後も善処してまいりますのでご理解ください。

④ 定期テストの試験問題で科目が同じでも文系と理系で内容が違うのに、文系理系混ぜて順位を出すのはおかしい。生徒のやる気を低下させないように、正当な評価方法にして欲しい。

⇒1年は共通科目設定が多く、3コースそれぞれの枠組みで評価や序列を算出しております。また、2～3年のTG選抜コースと総合進学コースでは、コース内でさらに文系と理系が設定されておりますが、それぞれの枠組みの中で評価や序列を算出しております。一方、特別進学コースについては、1クラスの在籍人数が少数である現状もあり、文系理系をまとめて算出している現状です。今後検討してまいります。

⑤ オンライン授業を一度も体験できませんでした。私立なのに？とよく言われます。大学に進学してから初めてオンライン授業だと不安しかありません。

⇒コロナ禍当初はオンライン対応もしてまいりましたが、徐々にコロナ禍が落ち着き始めるにしたがって、学校としては極力対面での授業ややり取りに重点を置いて運営してまいりました。また、オンラインに対応できる家庭での通信環境整備にまだまだバラツキがある現状もありましたので、どうぞご理解ください。

(生徒部)

1. 「挨拶やマナー等の基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている」

⇒1と2をあわせて生徒75%、保護者89%、職員75%と生徒と職員の意識が同じ評価となりました。80%を越えるよう、「挨拶やマナー等の基本的な生活習慣の確立に関する指導」を継続して行ってまいります。

5. 「部活動が活発に行われている」

⇒1と2をあわせて生徒89%、保護者87%、職員75%と生徒と保護者には十分部活動が

活発に行われていることが評価されたものと考えます。満足度を増やしていけるよう工夫してまいります。

6. 「生徒会活動が活発に行われている」

⇒1と2をあわせて生徒 80%、保護者 83%、職員 83%と十分に評価されたものと考えます。満足度を増やしていけるよう工夫してまいります。

7. 「有意義な学校行事がある」

⇒1と2をあわせて生徒 78%、保護者 82%、職員 89%と職員と生徒の評価に少し差がありました。生徒会を中心に、有意義で魅力ある学校行事を検討してまいります。

9. 「災害、非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている」

⇒1と2をあわせて生徒 88%、保護者 90%、職員 75%と生徒と保護者にはある程度の評価をいただけたものと考えます。職員の方からの評価がもっと上がるよう鋭意、検討してまいります。

12. 「学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる」

⇒1と2をあわせて生徒 75%、保護者 68%、職員 86%と保護者からの評価が7割を下回りました。いじめの予防に関する事柄など、外に発信していけるよう工夫してまいります。

19. 「携帯電話、スマートフォンの指導がしっかりされている」

⇒1と2をあわせて生徒 82%、保護者 86%、職員 66%と職員からの評価が7割を下回りました。携帯電話・スマホをはじめクロムブック等の使用について職員と改めて共有を図ってまいります。

(進路部)

2. 「進路目標の明確化及び実現に向けた適切な指導が行われている」

⇒1,2回答が生徒、保護者ともに8割を越えています。生徒は1の回答が昨年よりも増加がみられます。しかし3,4を回答した生徒が昨年比で若干増加しています。新年度から実施される面談期間に合わせて、進路に関する情報発信をし、各生徒が進路に対する意識を啓発していきたいと考えています。

(図書情報部)

14. 「図書、ICT機器、視聴覚などの有効な活用がはかられている」

⇒今後とも適切な運用を図ってまいります。

(保健厚生部)

15. 「健康管理及び安全衛生の指導がしっかりしている」

⇒学校の教育活動において、生徒の心身の健康管理はもちろんのこと安全衛生面での配慮や指導、また感染症の予防対策などにも対応し、引き続き安心安全な学校生活を送れるよう取り組んでまいります。

(管理職・事務部)

11. 「校舎やグラウンド等の施設設備は整えられている」

⇒生徒の安心安全な教育活動を安定的に継続するため、より充実した施設設備環境整備を実施できるよう努めてまいります。